

大村桂巖 おほむら けいがん 教育學者、宗教教育家。明治十二年二月十日滋賀縣愛知郡葉枝見村生れ、昭和二十九年十月一日歿（八八〇—九益）。幼名里麿。號二十木生、大村老骨、天台山主、歌津浦漁史、沅陽尉、浦島表作、花村薰、里の麻呂人、里の麿人、龜山人、龜山子、龜城等。明治二十一年得度改名。第七高等學校造士館第一部甲卒を経く、四十二年東京帝國大學文科大學哲學科（教育學專攻）卒。京都東山中學校とうざん初代校長、陸軍教授、宗教大學教授と務むる。昭和四年雜誌『教育と宗教』創刊、翌年第一回汎太平洋佛敎青年會會議議長としてハワイに渡り、尋ぐアメリカ全土の教育、宗教事情を視察。十七年大正大學文學部部長、二十三年學長就任。司法保護司、淨土宗學監等と務む。詩歌俳句を能くした。

著書、『教育學汎論』（大正十一年六月十一日教育研究會）、『佛敎大意』（昭和十五年七月十五日宗教敎育研究會）等の他、遺稿及び遺稿集『東運爾語』（昭和二十年十月一日大村先生記念文叢刊行會）がある。

